

支部だより

令和6年7月
第100号

建築士会加古川支部の皆様へ

建築士会の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。また日頃は何かと当士会活動にご協力頂き、誠に有難うございます。

今年の夏も例年以上に暑い日が9月中旬まで続く予報です。日中は勿論、夕方からの熱帯夜にも十分お気を付けください。室内でも運動せずとも、気温上昇に感覚が麻痺し熱中症になっても気付かずに重症へと傾きます。どうか、無理なくお互いの健康管理を進めて参りましょう。

さて、建築士会としてこの夏も暑さに負けず、皆様のご活躍がより充実へのプロセスに向け、これまで60周年記念事業の取組とし「SDGsがもたらす未来」を開催し人類による地球環境保全への取組の講演会、子どもの「秘密基地」築造への協力、障害、介護リフォームに関する講習会、現在では、建築資格取得へ猛勉強中の皆様への応援「みとろファーマーズマーケット」への参加・益明けには納涼懇親会・秋にはファミリーツアー・研修旅行など盛り沢山の予定が組まれております。

どうかお一つでも行事へのご参加頂ければ幸いです。新たな建築士会メンバーとの出会いにより、次へのステップが始まります様、今後とも当会の発展にご協力をお願い致します。

(副支部長 坂上 浩司)

“納涼懇親会”のご案内

会員の皆様 毎日暑い日々を過ごされているかと思えます。

毎年恒例の『納涼懇親会』を8月31日(土)に執り行います。

今年は、東加古川で行いたいと思えます。

暑い中キンキンのお酒を呑みながら、懇親を深めましょう(▽▽)

大勢の方のご参加をお待ちしております。

日時 令和6年8月31日(土)
19:00 開始 集合 18:45
場所 お好み居酒屋 まごみ
079-490-5528
加古川市平岡町新在家2丁目 270-11
2階

参加費 ￥6,000円

申し込み期限 令和5年8月20日(火)
申し込み方法 4面よりお申込みください。
当日連絡先 竹下 090-7113-1380
永田 080-3764-4179



どんなお店か見てね。

支部創立60周年記念式典の報告



4月27日(土)午後、加古川商工会議所4階大会議室において、支部創立60周年記念式典を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、地元市町長様ほか、多くのご来賓の方々のご臨席のもと60周年の節目を盛大かつ和やかに祝いいたしました。

式典では、加古川市長様から「訪れたイベント会場の木工教室で子供たちの笑顔があふれていた。民間のデザイン力を活かした居心地の良い公共空間を」。高砂市長様からは「古民家再生、災害に強いまちづくりを」。稲美町長様からは「町民参加ミュージカルを開催したが、脚本が大切である。建設も施主の話を聞いて夢を実現してゆく。安心して暮らせるまちづくりを」など、建築士会活動への厚い信頼と期待のお言葉をいただきました。また、会長からは加古川支部はどこよりも楽しく活動しているのが見て取れ、特に青年部は県下支部で一番元気がある。2級建築士製図講習会は、まさに継続は力なりと励ましていただきました。続いて会員表彰では、支部会員歴30年以上の17名の方が永年会員表彰を受けられました。また、この10年支部活動に顕著な功労がありました8名の方が功労者表彰を受けられました。表彰を受

けられた皆様には、引き続きご支援ご指導をよろしくお願いたします。

終わりの吉備副支部長の挨拶の後、出席者全員で記念写真を撮りました。

第2部、特別講演会では、SDGSをテーマに、プラスチック廃棄物と海の生態系保全、資源循環型社会構築に向けての取組みが紹介されました。冒頭、2019年に世界中で生じた3.5億トンのプラスチック廃棄物のうちリサイクルされたのは9%の3,300万トンのみ。22%の8,200万トンが管理されず不適切に廃棄されていると説明がありました。これが1年間のゴミだとすれば、これまでに何十億トンのプラゴミが廃棄され、地上から海洋へと生態系に悪影響を与えていることとなります。海のプラゴミは破砕されてマイクロプラスチックに、食物連鎖を重ね巡り巡って私たちの体内に取り込まれているとTVの特番で観たことを思い出します。解決策の一つとして、株式会社カネカが、地元高砂工業所内の土壌から原料を作り出す微生物を偶然発見したことを端緒に、微生物の研究、開発が進み海中でも生分解される生分解性バイオポリマーが実用化されました。現在は原料の大量生産にも成功し、スプーンやストロー、包装容器など様々な製品が作られています、価格の壁もあり十分には普及していないそうです。講演後の質疑で、使い捨て用品からより汎用性のある資材の開発状況についての質問では、用途を終え生分解へと性質転換を行わせるスイッチング技術の研究開発が難しいとのことでした。建設分野の資材開発が待たれるところです。

第3部、記念懇親会では来賓の関係団体及び本部役員、県下支部長の方々と支部会員、併せて46名が出席し、親しく交流を行いました。

最後になりましたが、記念式典準備では、青年部の皆さんほか多くの会員の方が協力してくださいました。会場の準備、記念式典から講演会への設営転換や式典運営に助けがあると聞き、いざ鎌倉とばかり、はせ参じてくれた方も多くおられました。会員の親睦を第一に活動を続けてきたこと、人の和の大切さを実感いたしました。改めてご協力いただいた方々には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

(支部長 小西 敏文)

(別 添 記念式典次第 抜粋)

◆ 会場 加古川商工会議所 4階 大会議室
第1部 記念式典

14:00 ~ 14:45 司会：林 友宏

◆ ご来賓

○ 加古川市

市長 岡田 康裕 様

○ 高砂市

市長 都倉 達殊 様

- 稲美町
町長 中山 哲郎 様
- (一社) 兵庫県建設業協会 加印支部
支部長 三宅 伸介 様
- (一社) 兵庫県建築士事務所協会 加古川支部
支部長 玉岡 安裕 様
- (公社) 兵庫県建築士会
会長 正木 恵子 様
副会長 田村 嘉朗 様
副会長 岡崎 雅彦 様
副会長 橋本 育子 様
副会長 西嶋 宣久 様
青年委員会 委員長代理 坂本 剛史 様
淡路支部 支部長 榮 宏之 様
北播磨支部 支部長 金田 成寿 様
神戸支部 支部長代理 久宝 弘幸 様
三田支部 支部長 野上 伸二 様
阪神支部 支部長 廣瀬 克也 様
姫路支部 支部長 石原 弘一 様
明石支部 支部長 嶋本 浩史 様
- 株式会社 カネカ 高砂工業所
鷹尾 治久 様



◆ 会員表彰

◎ 永年会員表彰 敬称略

五十嵐 裕治	古田 充	鬼一 恭士
赤尾 資司	井澤 康晴	矢幡 稔
上野 孝雄	豊田 眞司	竹田 淳一
船橋 佳照	小西 敏文	橋本 敏文
厚海 博志	高橋 功	高橋 賢吉
柏木 一良	福田 栄一	

◎ 功労者表彰 敬称略

増田 正幸	阪口 晴彦	高橋 賢吉
高橋 功	杉山 和馬	金尾 祥吾
東田 洋一	森川 弘樹	

第2部 特別講演会

15:00 ~ 16:00 司会：有田 和人

演題 「SDGs がもたらす未来」

講師 福田 竜司 氏

株式会社カネカ

Global Open Innovation 企画部



第3部 記念懇親会

16:30 ~ 18:30 司会：竹下 孝行

◆ 会場 加古川プラザホテル 2階 鹿児の間



（支部長 小西 敏文）

旧加古川町公会堂（旧加古川図書館） 記録映像上映会・座談会に参加して

6月30日に兵庫県建築士会の建築士の日事業として「旧加古川町公会堂（旧加古川図書館）記録映像上映会・座談会～まちと建築の響き合い～」が開催されました。



第一部では映像作家の若林あかね氏が撮影した旧加古川町公会堂（旧加古川図書館）の映像を視聴しました。実際に旧公会堂・旧図書館の時代に当建物に親しんだ方々のインタビューでは当時の様子を伺うことができ、当建物がまちのシンボルとなり、住民にとって馴染み深い建物であったことを再認識させられました。当映像はYouTubeにもアップされているので検索してみてください。



第二部の座談会では、笠原一人氏、金野幸雄氏、松原永季氏の豪華メンバーによる保存活用等についてお話がありました。特に印象的だったのは、当建物は重要文化財にもなり得るポテンシャルを持ち、もはや加古川市のみの財産ではないということでした。歴史的建造物の保存活用にはお金がかかりますが、ふるさと納税やクラウドファンディング等を駆使するののも一つの手段ということで、大変勉強になりました。

旧加古川町公会堂（旧加古川図書館）については、加古川市において保存活用等の可能性について調査研究がなされているところであります。保存活用にむけてより一層、機運が高まっていけば幸いです。（青年部 岩本 泰典）

* 写真は森川弘樹さん提供分使用しています

ええはなしやん 第79回

令和6年度建築士の日事業が新聞記事に

旧加古川公会堂（旧加古川図書館）記録映像上映会・座談会に関する記事が神戸新聞7月8日（月）朝刊の正平調に出ましたのでご紹介します。

本事業の準備、運営には本部研修委員会委員の尾瀬くみさん、森川弘樹さんが携わっています。

本上映会には支部より6名の方が参加されました。（古田充、柏木一良、藤原秀一、古田晃久、岩本泰典、小西敏文） 敬称略

・日 時：令和6年6月30日（日）
14:00～16:30

- ・会 場：KIITO(デザインクリエイティブセンター神戸) 303 (神戸市中央区小野浜町)
- ・映像紹介 若林あかね
- ・座 談 会 笠原一人 金野幸雄 松原永季
- ・設 計 者 置塩 章 (初代兵庫県建築士会会長)

正 平 調

その建物で覚えているのは、塗装がはがれた石の階段の濃い緑色。ステンドグラスに差す淡い光の優しさ。朝日に照らされた正面の誇らしげな表情—◆映像作家・若林あかねさんの最新作「旧加古川町公会堂」は、そんなナレーションで始まった。お披露目されたのは、先月末の兵庫県建築士会のイベント「まちと建築の響き会」。タイトル通りの、地元の記憶に刻まれていることが伝わる映像だった

◆公会堂が建てられたのは、1935 (昭和10) 年。県営繕課長を務めた置塩章の設計だ。当時流行の幾何学的なアールデコ調と、ゴシックなどの建築様式が入り交じる◆慣れ親しんだ市民が映像で語るように「ちょっと神聖なイメージ」。74年に図書館へと衣替えし、より日常的な空間になっても品格を保ってきた。それが数年来、先を危ぶまれている理由は耐震と劣化の問題だ

◆図書館は駅前に移転した。跡をどうするか。加古川市は市民の意向を調べて利活用者を公募し、ニーズがなければ解体するという。「重要文化財級」とも評される建物を壊せば、長年の響き合いがやんでしまう◆ここは知恵の出どころ。

若林さんは、YouTube「関西のモダン建築」チャンネルで公開を始めた。魅力的な活用策をみんなで考えたい。

2024・7・8
(支部長 小西 敏文)

編集後記

青年部副部会長 東田洋一さんから下記の文章をいただきました。

「支部だより第100号まことにおめでとうございます。これまで、青年部でも行事・イベントを行う度に何名かずつではありますが、記事を書いて活動報告をしておりました。自分の記事が掲載されている号を読むのは何とも気恥ずかしさもあり、楽しみでもあるものでした。これは記事を掲載された方々が皆感じているのではないのでしょうか。そう思うと、この第100号という数字は単なる数字ではなく、支部設立から多くの方が建築士会の活動に携わり、引き継ぎ積み重ねた活動の歴史やその思いが刻まれているのだと思います。

加古川支部設立60周年と同じ年に、支部だよりが記念すべき第100号が発行されることは、非常に喜ばしいことだと感じます。

これから次の第200号の発行そしてその先を迎えることができるよう、皆さんと共に歩んでいけることを心より願っています」

前向きで心温まる投稿ありがとうございます。

今号は総会について掲載しておりませんが、議案通り、滞りなく進行し承認されましたことを報告いたします。

挨拶文の中の子どもの「秘密基地」について、小西支部長の強力なリーダーシップのもと、高砂市一の池公園の奥に、子供たちの案(絵)を基にして、速水香織さん、杉山和馬さんが図面化して、工務関係は林友宏さんを中心に制作していくプロジェクトが進んでいます。11月頃を目途に子ども達と共に実際に組み立てる予定です。その節は皆様のご協力をお願いします。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

“納涼懇親会”

参加者氏名

緊急連絡先

連絡事項

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部
事務局/吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350
支部長 小西 敏文 直通 TEL: 090-7889-2626
E-mail: kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

